

「ME-BYO サミット神奈川 2019」の概要

主催：ME-BYO サミット神奈川 実行委員会

後援：内閣府、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、
公益社団法人日本医師会、公益社団法人神奈川県医師会、
一般社団法人神奈川県歯科医師会、神奈川新聞社、
tvk（テレビ神奈川）、
一般財団法人バイオインダストリー協会

【国際シンポジウム ME-BYO サミット神奈川 2019】

日 程 令和元年11月13日（水）及び14日（木）

会 場 13日：湯本富士屋ホテル（箱根町）
足柄下郡箱根町湯本256-1
電話 0460-85-6111
14日：パシフィコ横浜（横浜市）
横浜市西区みなとみらい1丁目1-1
電話 045-221-2155

参加者 海外・国内招聘ゲストスピーカー、行政機関、協賛企業、
アカデミア（大学・研究機関など）、一般参加者 など

趣 旨 国内外から有識者を招聘し、未病についての専門的な議論を「箱根」で行うとともに、
生活の中での未病改善の取組を広げていく議論を「横浜」で行い、未病を基軸とした未
来社会の実現に向けたメッセージを国内外に発信する。

内 容 基調講演・特別講演
パネルディスカッション
分科会① 「未病の指標化」WHO臨床コンソーシアム連携シンポジウム
分科会② 「未病社会のデザイン」
分科会③ 「今日からできる未病改善」
分科会④ 「ME-BYOに繋がるイノベーション」
分科会⑤ 「ME-BYOが拓く新たなマーケット」
分科会⑥ 「ME-BYO×データ×社会システム」
分科会⑦ 「ME-BYOでデザインするまちづくり」

※概要は、本紙3～8ページをご覧ください。

国際シンポジウム 「ME-BYO サミット神奈川 2019」 プログラム

<スケジュール>

【11月13日(水)】

時 間	内 容
10:00~10:30	開会あいさつ等
10:30~12:00	分科会①「未病の指標化」WHOクリニカルコンソーシアム連携シンポジウム ②「未病社会のデザイン」
12:00~13:15	休憩
13:15~16:00	分科会①「未病の指標化」WHOクリニカルコンソーシアム連携シンポジウム ②「未病社会のデザイン」

【11月14日(木)】

時 間	内 容
10:00~10:30	開会あいさつ等
10:35~11:35	SHI 開学記念セッション ※SHI：県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科
11:40~12:00	導入講演
12:30~14:00	分科会③「今日からできる未病改善」 ④「ME-BYOに繋がるイノベーション」 ⑤「ME-BYOが拓く新たなマーケット」 ⑥「ME-BYO×データ×社会システム」 ⑦「ME-BYOでデザインするまちづくり」
14:10~14:40	総括セッション・大会メッセージ

<セッション概要>

第1日目 11月13日(水)

敬称略、順不同

分科会① 「未病の指標化」 WHOクリニカルコンソーシアム連携シンポジウム	
WHOのクリニカルコンソーシアムの枠組みを活用して、神奈川県が構築を目指している国際的な未病指標の検討状況を共有し、議論を深める。	
モデレーター	
鄭 雄一	神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科 研究科長 / 東京大学大学院工学系研究科・医学系研究科教授 / 神奈川県顧問
パネリスト	
イズレネ・アラウジョ	WHOエイジング・アンド・ライフコース部政策戦略シニアアドバイザー
シェン・ウー	WHOデジタルヘルス・イノベーション部テクニカルオフィサー
ジョルディ・セラーノ・ポンス	UniversalDoctor 創業者兼CEO
ダグラス・ジドニス	カリフォルニア大学サンディエゴ校健康科学担当准副学長 教授
徳野 慎一	東京大学大学院医学系研究科 特任准教授 / 神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科 教授
岸 暁子	東京大学工学系研究科バイオエンジニアリング専攻 特任助教
渡邊 亮	神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科 講師
田宮 菜奈子	筑波大学医学医療系 教授
丹羽 隆史	株式会社タニタヘルスリンク 代表取締役社長
首藤 健治	神奈川県副知事

分科会② 「未病社会のデザイン」	
未病・医療・介護が連続的につながっていることを前提に、プレジジョンヘルスケアの普及に向けた必要な社会システムについて、国内外の最先端の取組みを交えて具体的に議論する。	
モデレーター	
大谷 泰夫	公立大学法人神奈川県立保健福祉大学理事長／神奈川県顧問
パネリスト	
中村 丁次	神奈川県立保健福祉大学学長
藤本 利夫	武田薬品工業株式会社 湘南ヘルスイノベーションパークゼネラルマネージャー
坂巻 弘之	神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科 副研究科長 イノベーション政策研究センター所長
黒田 秀郎	厚生労働省老健局総務課長
吉田 穂波	神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科 教授
山本 雅之	東北大学・TOMMO機構長
成松 宏人	神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科教授／NPO法人地域健康プラン代表理事
ロナルド・パール	スタンフォード大学教授
パメラ・フラッド	スタンフォード大学教授
ピーター・カオ	スタンフォード大学准教授
戸田 雄三	藤田医科大学教授
塩澤 修平	東京国際大学学長／慶応義塾大学名誉教授
鈴木 寛	東京大学大学院教授／慶応義塾大学大学院教授／ 公立大学法人神奈川県立保健福祉大学理事／神奈川県参与

第2日目 11月14日(木)

SHI開学記念セッション 「未病の学問体系化と人材育成」	
神奈川県が推進する未病について、学問体系化の取組みの現状を報告する。また、未病の可視化・指標化と指標の社会システム化に関する検討状況に関する最新の議論を提示する。さらに、未病社会に求められる多様な人材について、人材育成の進展を紹介する。	
モデレーター	
鄭 雄一	神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科 研究科長／東京大学大学院工学系研究科・医学系研究科教授／神奈川県顧問
パネリスト	
鈴木 寛	東京大学大学院教授／慶應義塾大学大学院教授／公立大学法人神奈川県立保健福祉大学理事／神奈川県参与
松本 洋一郎	東京理科大学学長／神奈川県参与
アサモア・バー	前WHO事務局次長／ガーナ大統領府付顧問（科学技術イノベーション担当）／神奈川県立保健福祉大学招聘教授
ダグラス・ジドニス	カリフォルニア大学サンディエゴ校健康科学担当准副学長 教授

導入講演 「専門家会合から見てきたこと」	
11月13日に箱根で開催された専門家会合(分科会①及び分科会②)の議論について、それぞれのモデレーターから紹介。 午後の各分科会における議論に繋げる。	
発表者	
大谷 泰夫	公立大学法人神奈川県立保健福祉大学理事長／神奈川県顧問
鄭 雄一	神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科 研究科長／東京大学大学院工学系研究科・医学系研究科教授／神奈川県顧問

分科会③ 「今日からできる未病改善」	
「栄養」による未病改善の取組みについて議論するとともに、「運動習慣」や「社会参加」など、個人で取り組むことができる未病改善の実践について議論し、発信する。	
モデレーター	
山本 舞衣子	フリーアナウンサー 元日本テレビアナウンサー／看護師／保健師
基調プレゼンテーション	
西川 きよし	タレント
パネリスト	
中村 丁次	神奈川県立保健福祉大学 学長
秋山 美紀	慶應義塾大学環境情報学部教授
イズレネ・アラウジョ	WHOエイジング・アンド・ライフコース部政策戦略シニアアドバイザー
斎藤 一郎	鶴見大学歯学部教授
野口 泰志	味の素株式会社 研究開発企画部 事業開発グループ長

分科会④ 「ME-BYOに繋がるイノベーション」	
大学、企業が自由に参画できる地域発のオープンイノベーションのあり方や、拠点間連携の可能性を議論し、最先端研究開発の観点から、未病改善の取組みにもつながる個別化医療・診断等の将来展望を米国の専門家を交え議論する。	
モデレーター	
吉元 良太	慶應義塾大学特任教授
パネリスト	
ロナルド・パール	スタンフォード大学教授
スティーブン・シェイファー	スタンフォード大学教授
ローレンス・レオン	米国退役軍人省パロアルト・ヘルスケア・システム医局長
藤本 利夫	武田薬品工業株式会社 湘南ヘルスイノベーションパークゼネラルマネージャー
野村 龍太	公益財団法人実験動物中央研究所理事長
林崎 良英	理化学研究所予防医療・診断技術開発プログラム プログラムディレクター

分科会⑤	
「ME-BYOが拓く新たなマーケット」	
未病の改善には、今までにない革新的な商品やサービスが必要であり、新たなマーケットも開拓される。そこで、ME-BYOコンセプトの商品・サービスを創出し、社会に定着させるために必要な条件と方策や、健全なマーケットの拡大に必要な課題について論じる。	
モデレーター	
坂巻 弘之	神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科 副研究科長 イノベーション政策研究センター所長
パネリスト	
宮田 俊男	厚生労働省参与/医療法人社団DENみいクリニック代表/大阪大学特任教授/神奈川県顧問
昌子 久仁子	神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科 教授
清泉 貴志	カリフォルニア大学サンディエゴ校グローバル政策・戦略大学院日本研究センター (JFIT) エグゼグティブマネージャー/神奈川県立保健福祉大学招聘教授
三宅 正人	国立研究開発法人産業総合研究所イノベーションコーディネーター
高田 幸徳	住友生命保険相互会社 執行役常務

分科会⑥	
「ME-BYO×データ×社会システム」	
未病改善など社会課題の解決に向けた政策立案において、ICTやデータの利活用は重要である。現状、どのような具体的な取組が進んでいるのかを把握するとともに、その展望と課題を整理し、データ駆動型社会の将来像を描く。	
モデレーター	
宮田 裕章	慶応義塾大学医学部医療政策・管理科 教授/神奈川県顧問
パネリスト	
市川 学	芝浦工業大学システム理工学部環境システム学科 准教授
宇都宮 崇人	株式会社ポケモン 代表取締役 最高執行責任者
江口 清貴	LINE株式会社執行役員/神奈川県顧問
吉田 穂波	神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科 教授
盛一 享徳	国立成育医療研究センター研究所 小児慢性疾病情報室 室長

分科会⑦ 「ME-BYOでデザインするまちづくり」	
地域における未病改善の取組みを主題に、民産学公が連携した課題解決の取組みや、実証フィールドの重要性や課題について報告し、今後のまちづくりの方向性について議論する。	
モデレーター	
武林 亨	慶應義塾大学医学部・医学研究科 教授
パネリスト	
成松 宏人	神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科教授/NPO 法人地域健康プラン代表理事
山本 雅之	東北大学・TOMMO機構長
石井 直明	東海大学健康学部健康マネジメント学科 教授
小熊 祐子	慶應義塾大学スポーツ医学研究センター・大学院健康マネジメント研究科 准教授
金子 直哉	横浜国立大学研究推進機構 産学官連携推進部門長

総括セッション ME-BYOサミット神奈川2019大会メッセージ 「Vibrant INOCHI」	
2日間にわたる議論を総括し、成果としての大会メッセージを発信する。	
座長	
黒岩 祐治	神奈川県知事
パネリスト	
大谷 泰夫	公立大学法人神奈川県立保健福祉大学理事長/神奈川県顧問
鄭 雄一	神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科 研究科長/ 東京大学大学院工学系研究科・医学系研究科教授/神奈川県顧問
特別ゲスト	
鈴木 大地	スポーツ庁長官